

令和5年10月19日 市政記者クラブ提供資料

考古博物館 企画展「濠をめぐらした弥生のムラ」について

◆と き

会 期：令和5年11月3日（金・祝）から令和6年1月21日（日）まで

休館日：毎週月曜日、第3火曜日（祝休日の場合は開館）

祝休日の翌日（土曜日・日曜日・祝休日の場合は開館）

年末年始（12月27日から1月4日まで）

◆ところ

鈴鹿市考古博物館 特別展示室

◆趣 旨

平成30年度に実施した大下遺跡の発掘調査で、弥生時代末から古墳時代初頭の濠（大溝：幅4m、深さ1.4m以上）が見つかり、濠の底から木製の樋を使った暗渠が設置されたままの状態で発見されました。この濠は集落を囲い込む環濠の可能性が考えられ、環濠にたまった水を排水するための施設は全国初の発見であり、また、年代測定の結果、日本最古級の事例であることが明らかとなりました。

「この暗渠は何のために設置されたのでしょうか？」

排水のためだけであれば溝を掘るだけで十分なところ、丁寧な加工が施された木樋を使ったのは、祭祀など特別な目的があったのではないかと考えました。しかし、濠の底の土壌を分析した結果、濠の中の水は、清浄な水ではなく、日常生活から出た汚水であることがわかりました。

全国初の発見、日本最古級である大下遺跡の木樋の役割について考えるため、弥生時代の「濠」に着目して、これまでに鈴鹿市内で見つかった濠を集成し、形状や遺物の出土状況などの比較から濠の役割について考えます。

なお、須賀遺跡の濠から出土した東海地域最大級の壺（鈴鹿市指定文化財）を3年振りに展示します。

◆主 催 鈴鹿市考古博物館

助 成 公益財団法人 岡田文化財団

◆展示構成

- ◇鈴鹿市内で見つかった濠と出土遺物
- ◇濠の形を比べてみよう（パネル）

◆主な展示資料

- ・大下遺跡 木樋，弥生土器，土師器 （所蔵／保管） 鈴鹿市考古博物館
- ・上箕田遺跡 弥生土器 //
- ・須賀遺跡 弥生土器・石器 //
- ・扇広遺跡 弥生土器 //
- ・南山遺跡 弥生土器 //
- ・一反通遺跡 弥生土器，銅鐸形土製品 //
- ・磐城山遺跡 弥生土器，土師器 //
- ・十宮古里遺跡 弥生土器，土師器 //
- ・八重垣神社遺跡 弥生土器 //
- ・天王遺跡 弥生土器 //
- ・南谷遺跡 弥生土器・鉄鏃 （所蔵／保管） 三重県埋蔵文化財センター
- ・森ヶ坪遺跡 弥生土器 //

ほか

◆開館時間

9時から17時まで（入館は16時30分まで）

◆観覧料

	常設展共通
一般・学生	200 円
小中学生	100 円

※団体（20名以上）は50円引き

※障がい者の手帳等をお持ちの方とその介護者1名，未就学児，70歳以上の方は無料
（証明できるものを窓口で提示）

◆関連講演会「環濠都市朝日遺跡と弥生時代の生活」

日時：令和5年11月3日（金・祝） 13：30から

講師：原田 幹 氏（あいち朝日遺跡ミュージアム）

◆会期中のイベント

体験講座「天平衣装を着てみよう」

日時：令和5年11月18日（土），19日（日）

① 9 : 30 から ② 11 : 00 から ③ 13 : 30 から ④ 15 : 00 から
講師：吉田 真由美（鈴鹿市考古博物館）

寺院官衙シリーズ講演会

第 1 回 「伊勢神宮・斎宮の成立と斎王御殿」
日時：令和 5 年 11 月 25 日（土） 13 : 30 から
講師：川部 浩司 氏（斎宮歴史博物館）

博物館入門講座

第 2 回 「瓦を学ぶ―南浦（大鹿）廃寺の瓦―」
日時：令和 6 年 1 月 14 日（日） 13 : 30 から
講師：吉田 真由美（鈴鹿市考古博物館）

◆問い合わせ先

鈴鹿市考古博物館 担当 吉田 真由美 直通電話 374-1994